

# 花の木だより

発行日 平成31年3月1日  
発行元 ふじみ野市立花の木中学校  
住所 〒356-0013 中福岡213-1  
電話 049-264-5400

目指す学校像

花いっぱい 笑顔(あいさつ)を交わし  
一人一人の生徒に自信をつける 花中

No. 13

平成31年3月15日  
ふじみ野市立花の木中学校  
校長 今伊 大

## 平成30年度 卒業式式辞

春の気配を感じる優しく暖かな風が吹き始め、希望が湧いてくる今日のよき日に本校を卒業する卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

そして、多数の御来賓並びに保護者の皆様方の御臨席をいただき、ここに、本校第44回卒業式を挙行できますことに、心より感謝し御礼申し上げます。ただ今、卒業生の皆さんが手にした卒業証書は、中学校の全課程と9年間の義務教育を立派に修了した証です。

壇上で卒業証書を受け取る一人一人の表情から3年間の思い出をかみしめ、これからの進路に向かう決意と自覚を強く感じました。本校での3年間はいかかでしたか。始めはぎこちなくスタートした中学校での生活でしたが、仲間と過ごした時間が風のように過ぎていったのではないのでしょうか。そして、かけがえのない仲間ができたと思います。

皆さんは、流れゆく季節の中で仲間と共に将来の夢を思い描き、挑戦していました。そして、心も身体(からだ)もたくましく成長しました。

皆さんの活躍は、本校に新たな伝統を築き、多くの感動を与えてくれました。共に汗を流し、一緒になって喜んだり、悲しんだり、楽しんだり、悩んだりしながら過ごした日々が、仲間との絆を深めて行きました。

学校生活のよき思い出には、必ず仲間とのふれあいがあります。

さて、先日、日本競泳女子のエースとして活躍していた池江璃花子(いけえりかこ)選手が、白血病であることを公表しました。そして、今後は、完治を目指して練習を休み治療に専念するとはなされていました。そして、池江さんは、一番のライバルであり友人でもあるリオデジャネイロオリンピック日本代表の今井月(いまいるな)選手に電話で、「私は病気になっちゃったからルナさんは、頑張っってね」と告げたそうです。そう告げられた今井月(いまいるな)選手は、どのように感じ、池江選手にどのようなことばを返したのでしょうか。

このことから私は、人は出会った人との関係の中で成長し、そして、勇気をもっていることを強く感じました。

今後、皆さんが歩んでいく時代は、様々な変化に対して、しなやかに対応していかなければならない時代です。それ故に、自分がどのように生きるべきかが、問われてくることとなります。一日一日を着実に歩んでいくことで、皆さん自身が自分の責任で、自分の生き方を見定め歩んでいってください。そして、嬉しいとき、悲しいとき、楽しいときにふと立ち止まって空を見上げれば、空は青く澄んで、美しい草花が生きる喜びを感じさせてくれることでしょう。そんな時、心のふるさとである花中を思い出してください。よい思い出は、これから生きていく中でいつでも受け取ることができる自分へのプレゼントです。

本日、135名の仲間と共に本校を巣立っていく皆さんが希望をもって人生を歩んでいくことを願っています。

保護者の皆様、教職員を代表して、お子さんのご卒業を心からお祝い申し上げます。この3年間は、お子さんとともに一喜一憂した3年間だったのではないのでしょうか。



本日、卒業という節目を迎え、ご家族の皆様のお喜びもひとしおのことと推察いたします。3年間にわたり、本校に寄せていただきました皆様の温かい励ましと力強いご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

結びに、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げますと共に、これからも、本校の子どもたちのために温かいご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。卒業生の皆さんの限りない前途を祝福し、式辞といたします。

